

## 平成29年度第8回石狩市浜益区地域協議会議事録

日 時：平成30年3月15日（木）16：00～17：30

場 所：浜益支所庁議室

資 料：会議次第

浜益区地域おこし協力隊募集経過について

資料1

【参考】石狩市地域おこし協力隊募集要項

資料2

参考資料

暴風雪に伴う停電について（H29. 12. 25～H30. 1. 2）

地場産品魅力アップセミナー

「厚田保育園」と「はまます保育園」に関するお知らせ

新聞記事

＝会議次第＝

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 報告事項
  - 1) 地域おこし協力隊の面接結果等について
4. 協議事項
  - 1) 地域おこし協力隊に係る今後の対応について
5. その他
6. 次回開催日程について
7. 閉 会

出席者：23人（委員13名、職員10名）傍聴人：1名

委 員			職 員	
役 職	氏 名	出欠	所 属	氏 名
会 長	宮田 勉	○	(支所) 支所長	松田 裕
副会長	大久保満彦	○	(支所) 地域振興課長兼都市整備課浜益支所担当課長	木村 新吾
委 員	寺山 広司	○	(支所) 地域振興課観光担当課長	成田 和幸
委 員	門脇 弥		(支所) 市民福祉担当課長併任浜益生涯学習課長	笹 富雄
委 員	小田 則貞		(支所) 保健福祉担当課長兼はまます保育園長 兼浜益国保診療所庶務課長	若狭 康晴
委 員	三上 正信	○	(支所) 地域振興課主幹	羽立 欣一
委 員	辻 カヨ子	○	(支所) 地域振興課地域振興担当主査兼産業振興担当主査	藤巻 誠一
委 員	羽立 裕子	○	(支所) 地域振興課産業振興担当主査兼地域振興担当主査	柿崎 恵一
委 員	岸本 紀子		(支所) 地域振興課地域振興担当主任兼産業振興担当主任	須田 恒
委 員	中元 義晴	○		
委 員	渡邊真奈美	○		
委 員	小笠原輝幸	○		
委 員	徳地 克実	○		
委 員	石川 宗	○		
委 員	瀧 勝明	○		

## 1 開 会

### 【木村課長】

皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

只今より平成29年度第8回浜益区地域協議会を開催いたします。開会にあたりまして宮田会長よりご挨拶をお願いいたします。

## 2 会長あいさつ

### 【宮田会長】

日中お忙しい時期、沢山の委員に出席いただきありがとうございます。

当初、雪が少ないと思っていたのですが、後にはかなり吹雪いてかなりの降雪になったと思います。

ニシン漁では、豊漁で浜が賑わっていたと思います。これからも豊漁が続きますよう、そして雪が溶けると農家の方も忙しくなってくると思います。安全操業、安全作業を心がけていただき、頑張っていたきたいと思っております。

今日はレジメにありますとおり、報告事項1点と協議事項1点を予定しております。その他といたしまして、各所管から連絡報告事項があるようでございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

### 【木村課長】

ありがとうございました。

それでは、これからの議事進行については、会長に議長をお願いいたします。

## 3 報告事項

### 【宮田会長】

はじめに報告事項1)地域おこし協力隊の面接結果等について、事務局から報告をお願いいたします。

### 【藤巻主査】

地域おこし協力隊の面接結果等について、資料に基づきご説明申し上げます。

資料1 浜益区地域おこし協力隊募集経過について (説 明)

### 【宮田会長】

私も面接で立会いましたのですけれども大変良い方ですね、プレゼンテーションもユニークなものを提案していただきました。観光の分野で活躍していただけるかなと期待しておりましたけれども、今報告のあったとおりでございます。

経過は以上のとおりでございます。

## 4 協議事項

### 【宮田会長】

続きまして、協議事項に入って行きたいと思ひます。

地域おこし協力隊員に係る今後の対応について、まず辞退をされたということで、あらためて皆さんにお図りしたいのですけれども、新たに隊員を募集するかどうか、もう一度確認して行きたいと思ひます。

今回の決定は6期の委員の中で決められた内容ですけれども、委員も変わりましたのであらためて募集するかどうか、それをまず皆さんで確認して行きたいと思ひますので、いかがでしょうか。

先程の経過報告の中身もあわせて意見等、質問等があればお願いいたします。

### 【寺山委員】

この地域おこし協力隊は、観光に従事するという将来目的があつて募集しているということで、今回の方は縁が無かつたとなつてしまひますが、目的がしっかりしているのであれば、募集して来ていただくようにしたほうがよろしいかと私は思ひます。

### 【宮田会長】

ありがとうございます。その他、皆さんはどうでしょうか。

### 【徳地委員】

同意見です。わかもん会とかも動き出しているし、そういう人を欲しいとは思ひていたから、私は良いと思ひます。

**【三上委員】**

平成30年度の予算も確保されているのでしたら、このまま募集した方が良いと思います。

**【宮田会長】**

今、3人の方の意見がありました、大方募集を継続したほうが良いとの意見が強いような印象を受けるのですが、それでよろしいでしょうか。

**【委員多数】**

はい、いいです。

**【寺山委員】**

地域おこし協力隊に参加する方、募集する方が少ないのはどういう状況なのですか。

**【藤巻主査】**

全道的な状況というと、浜益もたまたま1名、応募期間中にあったのですが、ジョインという移住・交流の機構があって、サイトがあるのです。その団体のホームページに、北海道内各市町村から募集広告を出しているのですけれども、先程言ったように浜益はこの期間に1名の応募がきたのですが、他のところでは苦戦していて、結構募集の延長、延長とかけているのが現状では多いと思います。

**【寺山委員】**

そういう、地域おこし協力隊になりたいという人が少なくなっているということですか。

**【藤巻主査】**

段々少なくなっていると思います。

**【寺山委員】**

瀧さん達が来た時は凄い募集がいました。

**【藤巻主査】**

その後のいろいろな新聞報道だとかいろいろなことがあるのかもしれないですけど、今はなり手がなかなか少ないというのが、現実ではあります。

**【寺山委員】**

わかりました。

**【松田支所長】**

一時よりはやっぱり少し減って来ているんじゃないですか。

**【寺山委員】**

それはそういう人がいなくなってきたということですか。

**【藤巻主査】**

道内もそうですけれど、道外も含めて全国的にこの制度が定着してきて、手を上げる市町村が増えていくというのがあるのです。それと隊員のニーズ、需要と供給が違って来ているというところがあると思います。

**【寺山委員】**

ありがとうございます。

**【木村課長】**

ちなみに厚田では2人応募があったようです。

**【松田支所長】**

厚田の2年で2人いたうちの1人が辞めて就職することにしたので、追加で2月に募集をかけたんですよ。2人、応募があったと聞いております。これから試験で採用するみたいな話になっていて、来ないんじゃないかなと思っていたら、最終日に結果的に2人来られたと聞いております。

**【宮田会長】**

そういう状況でございます。それでは新しい委員の確認として、地域おこし協力隊員を引き続き募集をするということで進めて行きたいと思っております。

参考資料としてお配りしている募集要項がございます。これは前の委員の方々の中で作っていただいた要綱という事でございますが、今すぐ見て意見どうのこうのというのは難しいと思いますので、今日のところは持ち帰っていただいて、内容を見ていただいて、もし付け加える部分等がありましたら事務局のほうに連絡していただきたい、そして次回の協議会に正式に要綱を決定しながら、募集をかけて行きたいというふうに考えております。という事で今日のところはこの参考資料をお持ち帰りいただき、内容を検討いただきたいと考えています。

**【藤巻主査】**

この活動内容については項目で幅広にとらえていますので、いま徳地委員が言ったような部分につき

ましても、この要綱の中で対応できるかと思えます。それといま会長も言われたように、2ページ目の6番の任用形態及び期間、平成30年4月1日になっていますけれど、ここは今考えているのは、合格した方と調整の上、採用年月日を決定するような、書き振りに変更したいというふうに思っております。その他は公募の手続き上で応募期間を変えて、というような感じになろうかと思えます。

この他に、なにか意見等ございましたら会長が言われましたとおり、次の協議会までに、FAXでもかまいませんので、ご連絡いただければと思います。よろしくお願いいたします。

**【宮田会長】**

地域おこし協力隊の募集につきましては、以上でよろしいでしょうか。

**【委員多数】**

はい。

## 5 その他

**【宮田会長】**

次にその他について、何かございますか。

**【木村課長】**

私から資料に基づき、年末年始に発生しました暴風雪に伴う停電について、簡単に説明させていただきます。

資 料 暴風雪に伴う停電について（H29.12.25～H30.1.2）（説 明）

**【宮田会長】**

いまの停電等の報告につきまして、質問等がございましたらお願いしたいと思います。

**【松田支所長】**

暮れに極端な停電があったので、向こうの方には整理した段階で、どのような原因で、今後どのような対応するのか、報告に来てくれということで、うちの方から話をし、浜益がメインでしたけれど、他の地域もあったので、先程課長からお話したような場を設定して、対応を確認したということです。うちからもその辺の調査だとか、その辺はやってくれという話をしましたけれど、向こうも決して軽くは考えていなくて、相当、大きな迷惑をかけたということは、支店長、直々にお詫びの言葉もいただきました。今後の部分に部分については、最大限、今、こういうような形の対応をさせて欲しいと、言うことだったので、行政としても、まずはわかりましたと、今後、こういうことの無いようによろしくお願いいたしますという話をしたということなので、その報告というふうに受け止めていただければと思います。

**【宮田会長】**

皆さん何かご質問ございませんか。なければ、その他で次に何かございましたら。

**【成田課長】**

私のほうから、この平成29年度、それから平成30年度の観光振興に係る取り組みについて、報告をさせていただきます。

まず、平成29年度に観光に視点を置いた、地域振興策に着手したところでございます。具体的には総務省の地域資源事業化支援アドバイザー事業というものを活用して、地域で活動する団体が集まって、それぞれの担い手不足ですとか、効率的な情報発信とか、活動資金の調達など、そういう課題の解決に向けた方策を検討していただく次第でございます。

具体的に構成団体と申しますのは、浜益の巨樹・巨木保全協議会ですとか、黄金山岳会、増毛山道会、庄内藩陣屋研究会、寺山ファーム、幌果樹組合、JA北石狩青年部浜益ブロック、JA石狩地区女性協議会、浜益わかもん会、それから事業所として株式会社あい風、これは道の駅の会社ですね、旅行業を営んでおりますアミーケ・インターナショナル株式会社、石狩森林管理署、石狩市観光協会浜益事業所、浜益支所教育委員会生涯学習課、地域振興課がかかわって勉強会を行いました。去年の12月中旬から今年の2月中旬までの2ヶ月間で4回会合を開いて、そのうち1回は東川町まで先進地視察にも行って来た所でございます。その会合の中でもろもろの課題が見えてきたものですから、勉強して得たものをさらに深く課題解決に向けて掘り進めて行こうと言うことで、新年度平成30年度も引き続き事業を行うこととしております。

その事業というのは、地域再生マネージャー事業というものでございまして、これは地域の、先程の活動団体を構成員に協議会を組織したりして、お互いの苦手な部分を保管しあう形で連携して、浜益を

ひとつのストーリーとして具体的にPRすることで、交流人口の拡大による経済波及効果の誘発など、観光に視点を置いた地域振興、即ち、観光まちづくりと言うんですけれども、を進めていこうと考えているところでございます。このマネージャー事業はふるさと財団という財団の補助を受けるものでございます。そこに現在申請中でございます。石狩市外から専門的知識を有するマネージャーという者を招聘して、この浜益地域における今後の活動への指導助言を受けて、それを元に地域の住民ですとか、関係者が自ら行動して、観光まちづくりを推進して行こうという取り組みでございまして、それが30年度に予定しております。

それと平成30年度は「いっぺ・かだれや」ヘルシーウォーク、毎年開催しておりますけれども、これまでは9月のふるさと祭りと同日開催しておりましたけれども、ボランティア参加の皆さんの過度の負担というのも問題となっておりますので、今年平成30年度は8月4日の浜益みなと祭りと同日に川下、柏木地区の農道をメインコースとして、開催する方向で現在準備を進めているところでございます。

2点目は、北海道遺産申請というものがあまして、現在、北海道遺産第3回の選定考を募集中でございまして、第1回の北海道遺産というのは2001年にありまして、そのときは25件の遺産が認定されました。第2回は2004年に27件認定されまして、この度、10年以上たって第3回の募集を今しているところでございます。そこに浜益の幌果樹組合の樹齢100年以上のりんごやあんずが実をつける、開拓史配布の果樹、というものについて北海道遺産を申請しようとしているところでございます。ホテルノースイーツで幌の果樹園のりんごが使われておりますけれども、浜益村史によりますと、浜益村の幌、茂生、実田に明治10年に開拓史から果樹の苗木が無償配布されて、幌ではそれが育ってその後、果樹がそこで続くことになったのでけれども、幌の木村果樹園とか善盛園にある木は、140年前の苗木が今現在も生きているのです。これは全道的にみると割と珍しい話でして、大概みんな品種改良で、古い木は伐採して植え替えてしまうんですけれども、幌の果樹の皆さんは原木を残していたということで、貴重であるということで、北海道遺産に申請しようとしているところでございます。今月中に申請して、審査を受けて認定は8月頃になるのですけれども、認証されるハードルは高いという見込みなのでございますけれども、仮に今回北海道遺産に認定されなくても、この申請のために明治以降の歴史的資料を整理しまして、申請書の為に内容を書いて、これまでの歴史的経緯が資料として非常に貴重なものとなっておりますので、それを幌、浜益のストーリーとして今後の観光まちづくりに生かしていこうと思っております。同じく北海道遺産で濃屋山道と増毛山道も、増毛町との広域連携によって、石狩市が主導で北海道遺産を申請しようとしております。

3点目は、道の駅「石狩あいろーど・厚田」についてですが、ご承知のとおり4月の27日からグラウンド・オープンするのですけれども、その前に先立ちまして、今月3月27日に浜益区民を対象に内覧会というものを用意しております。これは参加費とかは無料なのですが、午前10時30分浜益支所から福祉バスを用意しております、それに乗って厚田に着いて、賞味30分ほどしか見られないのですけれども、見て、またバスで戻ってくる、というのが3月27日に予定しております。こちらは区民どなたでもかまいませんので、参加されるという方がいらっしゃいましたら、我々、浜益支所観光担当の方に一報くだされば、その後詳しい内容は説明したいと思います。この3月27日の内覧会の他に、道の駅オープンまで4回、モニターツアーとかありまして、4月20日金曜日にはモニターツアーというのがあって、これは広報等、全戸配布で案内が配られることとなります。厚田・浜益区民だけのオープン記念パーティというのも4月21日に予定されておまして、こちらは招待者が決められていて、招待状はすでに発送されているのですけれども、こういった日程もあります。4月26日はオープニング式典がありまして、市長初め議員ですとか、そういった方々がセレモニーを行う日となっております。翌4月27日金曜日からは通常営業として、グラウンド・オープンするということとなります。

4点目は、地場産品魅力アップセミナーというのがございまして、本日お配りの資料の中にそのチラシがございまして、詳細は記載どおりで、ご都合のつく方は参加いただきたいと思っております。

#### 【宮田会長】

今、成田観光担当課長から4点ほどにわたって連絡報告事項がございましたが、皆さん何かご質問ございませんか。

#### 【瀧委員】

「いっぺ・かだれや」ヘルシーウォークですが、8月4日にするということですが、暑い時期で健康面とか、大丈夫ですか。

#### 【成田課長】

たしかに例年の9月から比べたら暑い日なのですが、距離も4、5キロと短い距離で、今回は休憩所にいろいろと工夫を凝らしたいと思っておりますので、一生懸命歩くというようなイベントではなくて、

気軽に浜益川沿いを歩いていただいて、黄金山の景色を見ていただいて、陣屋跡のところにも立ち寄るかな、そういったルートを考えておりますので、なるべく休憩所で地元の美味しいものを食べて楽しんでいただく、そういったイメージしておりますので、ばたっと倒れるようなことが無いようには気をつけたいと思っています。

**【瀧委員】**

ルートを変えるのですか。

**【成田課長】**

今までは毘砂別・送毛線でしたけれど、今回からは浜益温泉駐車場をスタート・ゴールとして、そこから歩き始めて浜益川沿いの堤防ですとか、農道を歩いて行って戻ってくるという感じです。一番遠いところで陣屋跡のあたりですか、ずっと平らなところで去年までの上り勾配が無いような形になっております。

**【瀧委員】**

病人やケガ人が出ないよう気をつけてください。

**【宮田会長】**

成田課長とも会場で会うのですけれど、地元の方々の参加が少ないように思います。

**【松田支所長】**

手伝いでいっぱいなんですよ。

今回はふるさと祭りとの兼ね合いも合ったのですけれど、みなと祭り、漁協青年部さんのやっている部分に、出来れば終わった後、夜、花火もあって、というようなイベントなので、せっかく浜益に来ていただくので、そのままそちらにも参加して、出来ることなら泊まっていてください、みたいな形のPRをしてやってみようかという、これも試行錯誤の取り組みなので、それをやってみてどうかという部分で考えていけたらというふうに動いています。

**【成田課長】**

さらに欲を出して言いますと、この次の日に浜益小劇場の定期公演の日なんです。ですからお客さんに一泊してもらって、二日目の日にその定期公演も見てもらえると、またさらに良いかな思うのですけれども、課題は宿泊場所の確保ですね。この辺がちょっと頭の痛いところでございます。いろいろと試行錯誤を繰り返して行きたいと思っています。

**【宮田会長】**

観光サイドでいろいろなユニークな事業を計画しているようです。先程の地域おこし協力隊員の強力な助っ人を益々期待されるところであります。よろしくお願ひしたいと思ひます。

**【渡邊委員】**

地域再生マネージャー事業にかかわるのかなと思うのですけれど、ついこの間、イチイの木に行くモニターツアーがあるみたいなのをインターネット上で見かけたのですけれど、これ、なんか簡単に分かれれば教えて欲しいんですけど。

**【成田課長】**

すみません。報告が漏れていました。

先だって、インターネット等でご覧になったのはですね。NPO法人エゾロック、というところが事業として、今年初めて展開した冬のイベントでございまして、冬の黄金山のところのイチイの木がありますけれど、そこまでスノーシューをはいて歩くという、これも1泊2日のイベントにしてございまして、それを今回2月と3月に2回やりました。今回はまだ試験的な運用ですので、参加者は大学の学生さんとかそういった方がいたのですけれど、1泊2日のスノーシューツアーを行う中での問題点とか課題、解決しなければならないなど、いろいろと洗い出すためのツアーということで、天気に恵まれてまして、冬の、スノーシューをはいて、静かな森の中を歩いて、イチイの木を見るというのは心を洗われて、我々も、柿崎主査も一緒に行ったのですが、心洗われたイベントでした。

**【柿崎主査】**

主体はエゾロックというところがやっているのですけれど、市の行政側からいうと石狩市観光教育推進協議会、という協議会の中の活動で準備がエゾロックということで、実は農水省の補助で、フィールドワークというか自然環境の活動をやっているの中の執行残があると聞いたので、もしよろしければうちのほうでもそういうのをやってくれないかと、こちらのほうの申し出で試行的にやらせていただきました。準備する時間も非常に短かったので、平成29年度にわかもん会の他に入ってもらったところには、投げかける余裕も無かったですし、第2回目は朝5時スタートとか、そういった部分があったので、負担をかけるかなと思ひまして、こちらのほうでやらせていただきました。

**【渡邊委員】**

大体何人くらいの参加があったのですか。

**【柿崎主査】**

第1回目は8人ぐらいで、第2回目は14人、現地スタッフ入れて先生も含めて7人でやってもらいました。まだ最終的な報告は来ていないのですけれど、実際に観光としていくらで出来るのか、というところまで調べてくれるということにして、うちの観光を進める上でネックとなるのは、バスをチャーターするのに11万ほどかかってしまうというところが、ネックなのではないかということで事前にはお聞きしております。

**【宮田会長】**

その他、ご質問ご意見ございませんか。

**【松田支所長】**

道の駅の補足ですが、3月は内覧会なので施設がこのような形で出来ました、というのをご覧いただくためのものなのですが、4月20日のモニターツアーというのは、昨日の発送で回覧していますけれど、それは厚田、浜益区民のためのツアーなので浜益側からスタートするものなので、時間的に都合が合えば是非その日に参加していただくのが、皆さん一番良いんだろうなと思っています。この日は27日のオープンの1週間前なので、道の駅側もオープンに向けてのトレーニングをしたいので、是非お客さんに来ていただいて、そのときは来ていただいた方にお金を払って食べてもらいますけれど、オープンと同様の形でテナントだとかのサービスも受けられるような設定になっていまして、それ以外、広報でも、20日以外にもモニターツアーは行うのですけれど、それ以外のツアーは石狩市本庁発着になるので、オープン前のモニターツアーとしては、浜益向けのツアーというのは4月20日になっているので、都合がつけば是非その日に参加いただければということです。

**【宮田会長】**

その他ございませんか。

**【笹課長】**

1点目は市役所直行便の車内掲載について、来月4月から浜益区内の公共交通利用にあたっての要望とか意見などをたまわって、運行改善や利用者の増加に向けた対策を講じたく、掲載場所をスクールバス一般混乗2台、滝浜のデマンド1台、浜厚のデマンド1台、計4台に直行便ということで、支所の1階にもあいボードにおいてあるのですけれど、こういうものを車内に置かせてもらって、事業者の協力をいただいて置く予定にしております。これで意見要望を伺って少しでも利用改善につなげたいと思っております。回答が必要な方はその旨書いていただければ、所管より回答もいただけるという制度になっています。

2点目に浜益区部活動等に係る有償旅客運送自動車運賃補助という補助制度を4月から考えております。これは6月の地域協議会でもお話をさせていただきましたが、経過等も含めて報告させていただきます。浜益には一昨年まで唯一の野球少年団があったのですけれども、それが団員減少で地元では活動できなくなり、厚田まで行って活動しなければならなくなりました。そういう厳しい中で浜益の子供2名ほど、厚田のグラウンドで練習するというので、平日5日あるのですけれどもそのほとんど親御さんの送迎で行くという形になっていまして、昨年6月に少年団関係者、親御さんも含めて、いま中学校で部活動の利用にあたっての補助制度があるのですが、それと同等の形で援助してもらえないだろうかという要望がありました。利用にあたっては何も支障は無いのです。予約の段階で定員に達していなければ十分に利用は出来るのですけれど、運賃補助となりますと少年団は教育委員会の所管ではなく、どうしても部活の生徒と少年団の児童と比較すると、補助制度が該当する、しないで開きがあると、これを補助対象にしていだけないかと要望がありまして、6月の地域協議会に相談させていただきました。教育委員会部局、市部局と協議させていただいて、浜益の場合、団体活動をするには厚田まで行かなければならない部分と、それを利用する公共交通がないという部分もあって、そういう事情から、小中同じような考え方で、一本化した形でやっていきたいと思いますという合意が得られました。浜益区部活動等に係る有償旅客運送自動車運賃補助という名称で、生徒、児童同じ条件で、同じ金額で厚田の方に向かうことができるようになりました。先月、厚田の少年団関係者、浜益の保護者には今月お話しする予定なのですが、説明会を開きまして理解をいただいております。小学校、中学校には事務的な手続きでお手伝いをしてもらう関係もありまして、そちらの方の説明もすでに終わっており、協力をいただけるということになっております。

**【宮田会長】**

1点目のほうは、デマンドとバス、車両の利用増を目的とするのですね。

**【松田支所長】**

そうです。昨年、スクールバス等の利用促進に向けてのアンケートというのを行って、皆さんにご協力をいただいたのですが、乗っている人に声を聞けるようなことも必要なのではないかという話があって、滝浜のデマンド等についても、そういう意見が出せる場が欲しいという声があったので、それに向けて声を届けられるような仕組みとして、こういうものを置かせてくださいという話です。

**【宮田会長】**

分かりました。

**【松田支所長】**

2点目も、小学生から見ると中学生より高い金額で行かなければならないという問題があって、そもそもおかしいという話が出ていて、実質1年かかってしまって、まことに恐縮だったのですが、中学校の部活と同様に割引を出来るような仕組みを作ったので、今後はそれを利用して、スポーツに参加していただきたいという形になったということです。

**【宮田会長】**

皆さん分からない点があれば、ご質問お願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。それでは他にあればどうぞ。

**【若狭課長】**

私からは配布しております「厚田保育園」と「はまます保育園」に関するお知らせについて、資料に基づき説明させていただきます。

資 料 「厚田保育園」と「はまます保育園」に関するお知らせ （説 明）

**【宮田会長】**

ただいま、「厚田保育園」と「はまます保育園」に関するお知らせについて報告がありましたが、皆さんご質問等ございませんか。よろしいでしょうか。

**【委員多数】**

はい。

**【宮田会長】**

事務局の方で他にございますか。

**【藤巻主査】**

お手元の方に、前回の協議会以降、本日までの新聞記事等を皆さんに配布しておりますので、ご家庭にお戻りになってからご覧頂ければと思います。

**【宮田会長】**

予定していた案件は以上ですが、ここで休憩といたします。

（ 休 憩 ）

## 6 次回開催日程について

**【宮田会長】**

次に次回開催日程について、事務局から提案願います。

**【藤巻主査】**

次回開催につきましては、会長と協議のうえ、近くになりましたらご連絡いたします。

**【宮田会長】**

只今、事務局から提案がありましたとおり、次回開催は後日ご連絡しますのでご出席のほど、よろしく願います。

## 7 閉 会

**【宮田会長】**

以上をもちまして平成29年度第8回浜益区地域協議会を閉会いたします。ご苦労様でした。



平成30年3月26日議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 宮田 勉